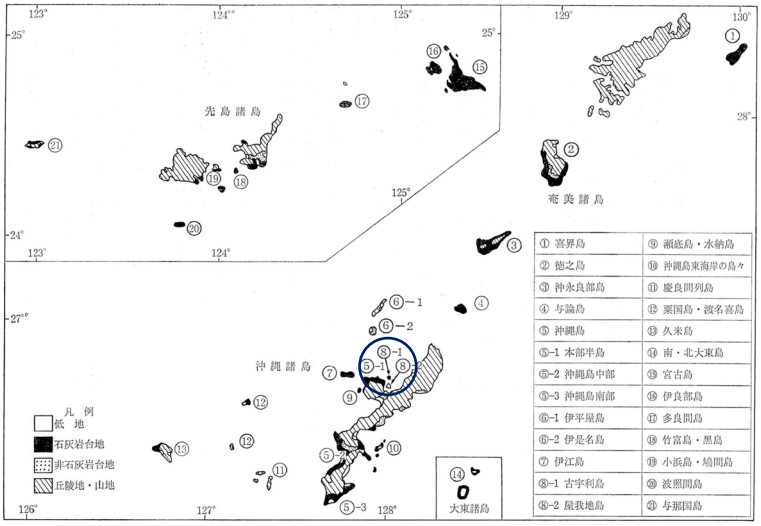
8.古宇利島・屋我地島

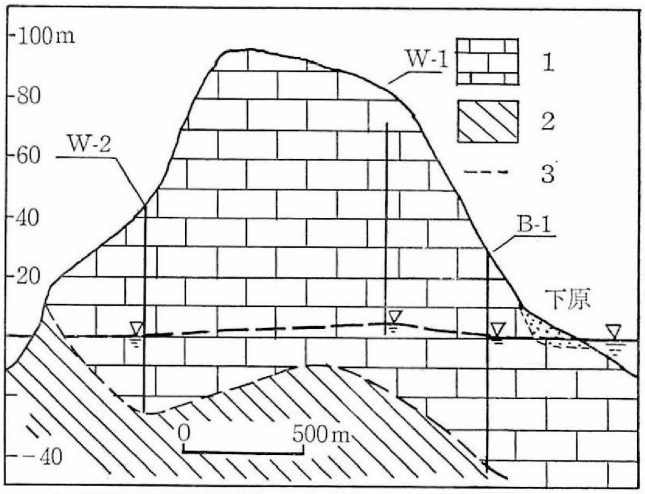


地形・地質

両島は本部半島の北東に浮かぶ小島です。古宇利島は典型的な隆起環礁地形で，地質は古生層を不透水性基盤として琉球石灰岩が全島を覆います。屋我地島は，西部～中部はやや起伏に富みますが，東部はなだらかな地形です。地質は古生層を不透水性基盤とし，更新世の砂・礫層・琉球石灰岩が覆います。

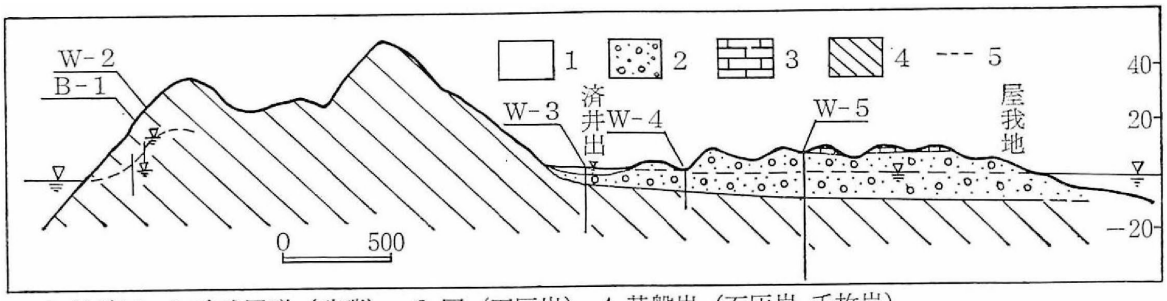
地下水

古宇利島の地下水は塩水の上に薄くレンズ状に賦存し，過剰な揚水で塩水を引き込みやすく一度上昇した塩分濃度は容易に低下しない特徴があります。屋我地島は更新世の砂・礫層・琉球石灰岩が帯水層ですが，帯水層の規模は小さく，深さ 2～11m の浅井戸で取水しています。



1.琉球層群(石灰岩)　2.基盤岩(千枚岩等)
3.地下水面

古宇利島の地質断面図



1.沖積層　2.琉球層群（砂礫）、 3.同（石灰岩）　4.基盤岩（石灰岩、千枚岩）
5.地下水面

屋我地島の地質断面図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）